

第3学年1組 社会科学学習指導案（略案）

第6校時 場所 ワークスペース

単元名 みよしれきしたんけんたい！（かわってきた人々のくらし）
（技能）

○ 本時の指導

「おこしもの」「祭り」「お月見泥棒」について、興味をもった児童ごとに班に分かれ、それぞれ調べたり、体験したりしたことをまとめたものを発表する。他の班が調べたことの発表を聞くことで、ふるさと「みよし」に興味をもって生活するきっかけとなるのではないかな。

指導過程

時間	学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 評 価
つ か む 5	1 発表順の確認 ○本時の流れを確認する。	・何のために発表して、お互いに聞き合うのかのめあてを確認する。
ふ か め る 3 7	2 班ごとに発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">ほかの班の発表をきいて、「みよし」博士になろう。</div> ○各班でまとめたことを発表する。 ①食べ隊 「おこしもの」について調べたことや、実際に作ったことやその手順についてまとめたことを発表する。 ②祭り隊 各地区に伝わる「祭り」について調べ、その差異について表でまとめたものを発表する。 ③踊り隊 9才までの女の子が踊る「巫女舞」について調べたことを発表したり、実際に踊ったりする。 ④お月見隊 おもに福田地区に伝わる「お月見どろぼう」という行事について調べたことや実体験を発表する。	○発表ごとに質疑応答の時間をとる。 【評価】 ※ほかの班の発表に興味をもって聞くことができているか。 ※紙芝居や劇など、聞いている人がわかりやすい発表の仕方を工夫できているか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">〈主体的に学びあうために〉 各班の発表が終わるごとに、質問・感想を話す時間をとり、発表を聞いて考えたこと、感じたことを共有する。そうすることで、みよしについてもっと知りたい、調べたいという気持ちが高まるであろう。</div>
ま と め 3	4 本時の感想を発表する。 ・「食べ隊の発表を聞いて、どうして「おこしもの」があるのかがわかりました。」 ・「これからは、祭りにどんどんさんかしたいです。」	・工夫をして発表できていた班、その方法について賞賛する。

【資料1】

(5) 単元計画

単元名「かわってきた人々の暮らし」(15時間完了)

教師の支援

つかむ・課題設定

おじいちゃん、おばあちゃんの家にある古い道具をさがそう。

- ①身の周りにある古い道具を見つけよう。
- ②身の周りにある古い道具について話し合おう。

昔の道具や暮らしについてもっと知りたいな。

・天秤や煙管など古い道具の実物を見せ子どもの関心を高める。

調べる

昔の道具や暮らしについて調べよう。

- ③歴史民俗資料館に行こう。
- ④石川家住宅へ行こう。
- ⑤洗濯板で洗濯しよう。
- ⑥昔の道具を調べて感じたことを話し合おう。

・昔の暮らしをよく知る方のお話を聞き、昔の暮らしについての理解を深める。

昔から続いているものについて調べよう。

- ⑦昔から続いているものをさがそう。
- ⑧⑨⑩くわしく調べよう。
- ⑪調べたことを発表しよう。(本時)

・区長さんや神社の氏子さんに協力していただき、地域の方にインタビューできるようにする。

わからないことがあるな。もっとくわしく調べたいな。

昔から続いているものについてさらに調べよう。

- ⑫⑬くわしく調べよう。
- ⑭調べたことを発表しよう。

・なぜ現在に受け継がれているものがあるか考えさせることで伝統を守りたいという気持ちを高めさせる。

考える

これからぼくたちができることはなんだろう。

わたしたちにできることを考えよう。

- ⑮調べ学習をして感じたことを話し合おう。